



2023年10月期 第1四半期決算補足資料

2023年3月14日

東証スタンダード 証券コード3974

株式会社 ティビィシー・スキヤット

2023年5月1日より商号を「SCAT株式会社」に変更いたします。

1. 第1四半期 決算の概要

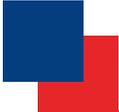
- ・ 第1四半期決算ハイライト
- ・ 自己株式の取得報告

2. 2023年10月期 見通し報告

- ・ 連結業績見通し（進捗報告）
- ・ 株主還元：配当予想変更（中間配当増配）

3. トピックス

4. 会社概要



第1四半期 決算の概要

2023年10月期

単位：百万円

	2022年10月期 第1四半期実績	2023年10月期 第1四半期実績	増減率
売上高	630	649	3.0%
売上原価	353	393	
売上総利益 (粗利率)	277 (44.0%)	255 (39.3%)	
販管費	221	214	
営業利益	56	41	▲26.4%
経常利益	55	42	▲23.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	32	32	1.7%

- 経済産業省より、社会のDXを推進する「DX認定事業者」「IT導入支援事業者」に加え、中小企業の経営力強化を支援する「経営革新等支援機関」に認定。
- 社会のDX化・法令改正等が好調を後押し。市場環境の追い風に乗ったコンテンツサービスを、積極的にリリースする仕掛け。
- 原価増：施設の食材や消耗品、光熱費等の高騰。

単位：百万円

	2022年10月期 第1四半期実績	2023年10月期 第1四半期実績	増減率
売上高 (※)	630	649	3.0%
美容 ICT	363	381	4.8%
ビジネスサービス	75	75	▲ 0.1%
介護サービス	186	187	0.8%
セグメント利益 (※)	56	41	26.4%
美容 ICT	45	29	▲34.2%
ビジネスサービス	▲4	▲1	—
介護サービス	12	10	▲12.2%

※各事業セグメント合計値との差額は不動産等収益によるものです。

美容サロン ICT

受注は好調。納品リードタイム伸長（IT導入補助金採択ユーザーのうち81社が今後納品予定、半導体不足で延期していた大口ユーザーの納品完了見込み）第2四半期に向け新製品リリースと「Googleで予約」「Instagramから予約」「楽天ポイント連携」に加え「LINEミニアプリ連携」によりサロン集客支援サービスの拡充の仕掛け。

ビジネス サービス

コアの会計サービスは既存顧客への経営改善サポートにより増収・増益。お客様からの口コミ等で新規紹介が増加。2Qへの仕込み。外国人技能実習生向け支援サービスは撤退方針（2023年4月見込み）。

介護 サービス

介護付き有料老人ホームの高い入居率（90%超）は維持（空室が増加）コロナ集団感染防止のためデイサービス等の一部利用休止措置や利用控え。食材及び水道光熱費等の高騰による減益。

単位：百万円

	'22.10期	1 Q	増減
流動資産	2,047	1,494	▲553
現預金	1,765	1,180	▲585
固定資産	1,422	1,430	▲7
有形固定資産	852	846	▲6
無形固定資産	342	330	▲12
ソフトウェア	218	205	▲13
ソフトウェア仮勘定	68	73	5
のれん	51	48	▲3
投資その他資産	226	252	26
資産合計	3,470	2,924	▲545

	'22.10期	1 Q	増減
負債	1,292	1,194	▲98
流動負債	655	563	▲92
固定負債	637	631	▲5
純資産	2,177	1,729	▲447
株主資本	2,183	1,734	▲448
利益剰余金	2,048	2,062	14
負債純資産合計	3,470	2,924	▲545

□資産の部

《主な減少要因》

- ・現預金：自己株式の取得（462M）
配当金・納税・賞与等の支払い
- ・固定資産：差入保証金（東京本社移転準備）
の増額（40M）

□負債の部

《主な減少要因》

- ・流動負債：納税・賞与等支払い、借入金返済

□純資産

《主な変動要因》

- ・自己株式購入に伴う株主資本の減少

《自己株式取得の理由》

当社は「学校法人ティビィシー学院」より、同社の保有する当社普通株式の全部について売却の意向表明を受けました。

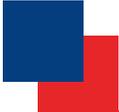
同社の保有する当社株式が短期間に市場で売却された場合の市場株価等への影響を考慮し、当該株式を自己株式として買い受けることについて検討したところ、当該株式を自己株式として取得することは市場への影響を回避すると判断し、実施することといたしました。

《自己株式取得の内容》

(1) 取得した株式の種類	当社普通株式
(2) 取得した株式の総数	1,159,400株
(3) 株式取得価格の総額	462,600,600円
(4) 取得日	2023年1月11日
(5) 取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付

《自己株式取得後の概要》

- 発行済み株式数：5,240,000株
- 自社所有株式数：2,262,351株（所有割合43.17%）



2023年10月期 見通し報告

- ・ 連結業績見通し（進捗報告）
- ・ 株主還元：配当予想変更
（中間配当増配）

単位：百万円

	2023年10月期 通期見通し	2023年10月期 第1四半期実績	進捗率
売上高	2,656	649	24.4%
営業利益	238	41	17.3%
経常利益	237	42	18.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	170	32	19.3%

- 事業収益に関する進捗は、ほぼ当初見通しとおりの進捗。
- ・受注は好調。
 - ・売上は概ね予定通りの進捗。
 - ・半導体不足に伴う商品品薄により延期していた大口ユーザーの納品時期が確定（2Q以降に完了見込み。）
IT導入補助金採択ユーザー81社の納品が2Q以降に繰り越し。
 - ・利益減：光熱費を含めた物価高による原価増。

単位：百万円

	2023年10月期 通期見通し	2023年10月期 第1四半期実績	進捗率
売上高（※）	2,656	649	24.4%
美容ICT	1,534	381	24.8%
ビジネスサービス	313	75	24.1%
介護サービス	790	187	23.8%
セグメント利益（※）	238	41	17.3%
美容ICT	148	29	20.0%
ビジネスサービス	7	▲1	—
介護サービス	70	10	15.5%

※各事業セグメント合計値との差額は不動産等収益によるものです。

美容サロン ICT

システム販売が好調。受注実績も当初計画以上の進捗（追い風効果）
コンテンツ、保守等の課金型ストックビジネスも順調に売上げ増。
「LINEミニアプリ」（課金型）のリリース&拡販

ビジネス サービス

コア事業の会計サービスの繁忙期（個人事業者決算）に向けた仕込み中
コンサル事案（経営力向上計画・ものづくり補助金申請）案件の増加
外国人技能実習生サポートは、撤退方針を決定（2023年4月完了予定）

介護 サービス

コロナ感染防止に注視しながら安定した利益を確保
水道光熱費の高騰（寒冷地対応：入居者の健康維持を第一優先。）

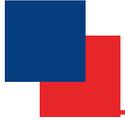
■ 配当予想の修正（中間配当の増配）

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要な事項と認識し、業績に見合った適正な利益還元を行うことを基本方針としております。

今期中間配当金につきましては、当第1四半期の業績進捗及び見通しが堅調に推移していることを勘案し、1株当たり50銭増配を実施することといたします。

	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想（2023年10月期） （2022年12月26日公表）	4円00銭	4円50銭	8円50銭
今回修正予想	4円50銭	4円50銭	9円00銭
前期実績 （2022年10月期）	4円00銭	4円50銭	8円50銭

よって当初の年間配当予想1株あたり8円50銭（中間配当4円、期末配当4円50銭）を、年間配当予想1株あたり**9円00銭（中間配当4円50銭、期末配当4円50銭）**と修正いたします。



トピックス

－ 2023年10月期 第1四半期－

当社は、2023年1月27日開催の「第55回定時株主総会」において、定款の一部変更が決議され、下記のとおり商号を変更することになりました。

《商号変更について》

◆ 新商号：

SCAT株式会社

(英語表記：SCAT Inc.)

◆ SCATとは

Solution and **C**reation **A**ll customers **T**ogether
ソリューションと創造を、全てのお客様と一緒に

◆ 効力発生日：2023年5月1日

当社は、東京本社及び東京オフィスを統合し、移転いたします。

当社は、社員満足度を高め、働きやすい環境と生産性が向上する魅力ある職場環境の実現に向けて、東京本社と東京オフィスを統合し、移転することを決定いたしました。

《移 転 先》 東京都港区芝浦1-2-1
シーバンスN館 2 F
《移転時期》 2023年10月（予定）



※) 当社の本店所在地は、栃木県小山市（小山本社）のため、本移転に伴う定款の変更はありません。

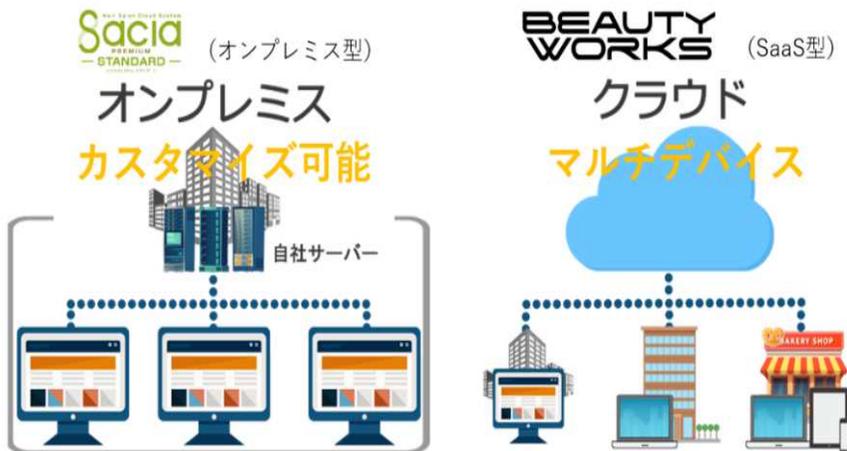
■ 業績への影響

本件の業績への影響は軽微であると判断しておりますが、今後業績に影響を与えると判断した場合は、速やかに公表いたします。

■ 商品品質・サービス品質の向上：システム販売（物販）に **Plus 1**

→ 中長期にわたり蓄積されたノウハウや技術の詰まった商品群データに基づいたソリューション営業を推進

システム販売 (POS型CRMシステム)



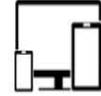
美容ディーラー向け販売管理システム



- サロン向けEC連動
- **インボイス対応**
- BK 口座振替連携
- 楽楽明細との連携



コンテンツの提供

 【SaaS型】 クラウド型 美容業界CRMシステム	 【マルチデバイス】 様々なハードウェアに対応 出先からでもアクセス可能	 【予約】 WEB予約、次回予約 電話予約	 【レジ】 美容業界に特化したシステム 受付、精算に対応
 【集計業務】 美容業界特有の比率や集計 スタッフ様の管理が可能	 【楽天ポイント連携】 美容業界初のシステム連携による バツグンの操作性	 【かんざし連携】 大手集客サイトの予約表と 予約情報連携	 【Google で予約】 Googleマイビジネスから 予約が取れる集客導線を確立

美容サロンにおけるDX推進サポートの一環として、2023年2月1日より美容サロン様専用のPOSシステムと「LINEミニアプリ」との連携を提供開始！



■ 『LINEミニアプリ』とは

WEB予約などのサービスを「LINE」アプリ内で提供するWEBアプリケーションです。



■ POSシステム (Sacila・BEAUTY WORKS) との連携

美容サロン様は、POSシステムのCRM分析により抽出されたエンドユーザー様の【LINE】へ公式アカウントから来店促進等のご提案が可能となります。





美容ディーラー（美容商材業者）のバックオフィス業務の改善による生産性向上を目的に、クラウド型電子請求書発行システム「楽楽明細」を提供する「株式会社ラクス」と販売パートナー契約を締結！

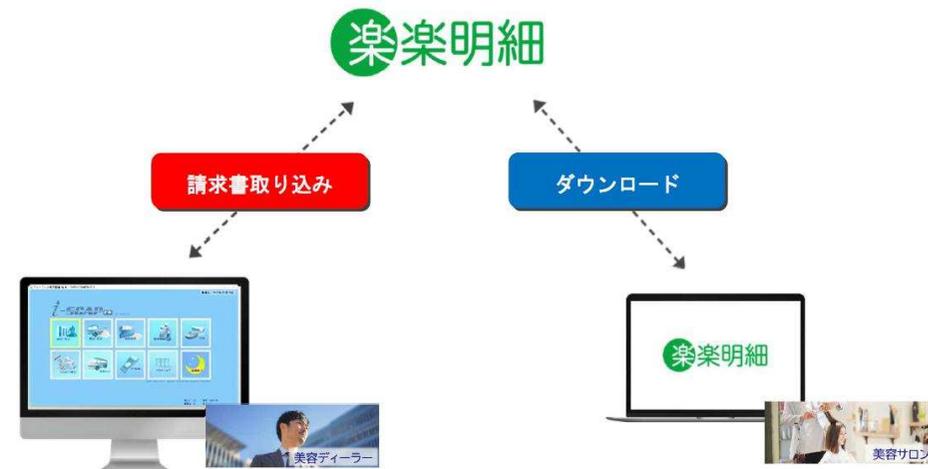
2023年3月1日より販売開始

■ 販売管理システム（i-SCAP EX）との連携

美容ディーラー様は、TBCSCAT提供の販売管理システム（i-SCAP EX）より出力された請求書を「楽楽明細」に取り込み、美容サロン様へ請求書をオンラインで発送することが可能となります。

- ① 帳票の印刷・封入・発送の手間がゼロ
- ② 電子発行への切り替えで紙代、印刷代、郵送費などのコストを削減
- ③ 再発行依頼や発送状況確認などの問合せ対応がラク

※「楽楽明細」は、改正電子帳簿保存法、インボイス制度に対応したWeb帳票発行システムです。



- 株式会社ラクス 会社概要
- 代表者：中村崇則
- 住 所：東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 7F
- 事業内容：クラウドサービス事業
- 上場市場：東証プライム市場（3923）
- 企業URL： <https://www.rakus.co.jp/>

経済産業省の IT導入補助金2023 において、 今年度も「IT導入支援事業者」に採択されました。

IT導入補助金は、中小企業事業者等が課題やニーズに合ったITツールを導入する経費の一部を補助することで業務効率化・売上アップをサポートする経済産業省の制度です。

具体的には、中小企業などが働き方改革や賃上げ、インボイス制度導入などに対応できるよう生産性向上に役立つITツールを導入するときに受けられる補助金です。

IT導入補助金2023では、デジタル化基盤導入枠における2年分のクラウド利用料やハードウェア購入の補助対象化と補助率の引上げが継続されるほか、より安価なツールも購入できるよう、補助金の下限金額の見直しや撤廃が行われました。

《デジタル化基盤導入類型》

中小企業・小規模事業者にインボイス制度への対応も見据えて、企業間取引のデジタル化を一挙に推進するため、会計ソフト・受発注ソフト・決済ソフト・ECソフトに加えて、PC・タブレット、レジ・券売機等の導入費用を優先的に支援。

※) 詳細は、「中小企業庁IT導入補助金」をご参照ください。
https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/r4/r4_it.pdf

《対象商品》

■ Sacla PREMIUM

製品：理美容業界専用CRMシステムPOSレジ
対象：美容サロン、ネイルアッシュ、
リラクゼーション業界対応機種

■ BEAUTY WORKS

製品：SaaS型の美容業界専用POSシステム
対象：同上

■ i-SCAP/EX

製品：販売管理システム（インボイス対応）
対象：美容ディーラー等理美容業界対応機種

中小企業向けビジネスサービス事業では、中小企業支援のためコア業務である会計サービスを中心に、各種サービスを提供しております。

当事業年度は、業務の選択と集中によるボトムアップを実施いたします。

■ コア業務

中小企業向け会計サービスを中心の経営支援
(重点実施：クライアントのデジタル化支援)

- 経理代行・事務代行
- 決算代行
- 給与計算代行
- ソフト導入支援（会計・販売管理等）
- リモートサービス



■ 伸長業務

経営革新等支援機関によるコンサルティング

- 経営力向上コンサル
- 先端設備導入コンサル
- 経営革新コンサル
- 事業再構築コンサル
- その他コンサル

【導入事例】

- ・ものづくり補助金を活用したドローン測量導入
<https://www.tbcscat.jp/news/2022/11/07/255>
- ・経営力向上計画による先端設備導入コンサル
<https://www.tbcscat.jp/news/2023/02/20/275>

■ 登録支援機関（出入国在留管理庁登録）の業務撤退予定（2023年4月末予定）

→ 外国人技能実習生や特定技能外国人の受入企業の人事・総務業務の代行の撤退

■ 栃木県、群馬県、長野県において介護付き有料老人ホームを運営



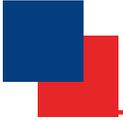
運営効率とオペレーション

コロナ感染防止対策徹底と優れた介護技術

- 介護品質の向上：高い有資格者率（介護福祉士）による質の高いケア
- 感染症対策を含むBCP（事業継続プログラム）
- DX・介護DXの推進
 - ・オンライン面会の活用
 - ・YouTube掲載やHPの活用
 - ・新たなコンテンツの創造（健康促進事業・介護予防・助っ人）

■ 新サービス「助っ人」の浸透

- 介護保険サービスと介護保険外のサービスを組み合わせたオーダーメイドサービスを提供
- 今までの在宅（デイ・ショート）での繋がりを活かし、お客様の様々な状況に応じた手厚いサービスの提供と地域に密着したサービス展開で事業全体を強化する。



会社概要

TBCSCATは、ICTを活用し中小企業の経営をサポートするソリューション・カンパニーです。

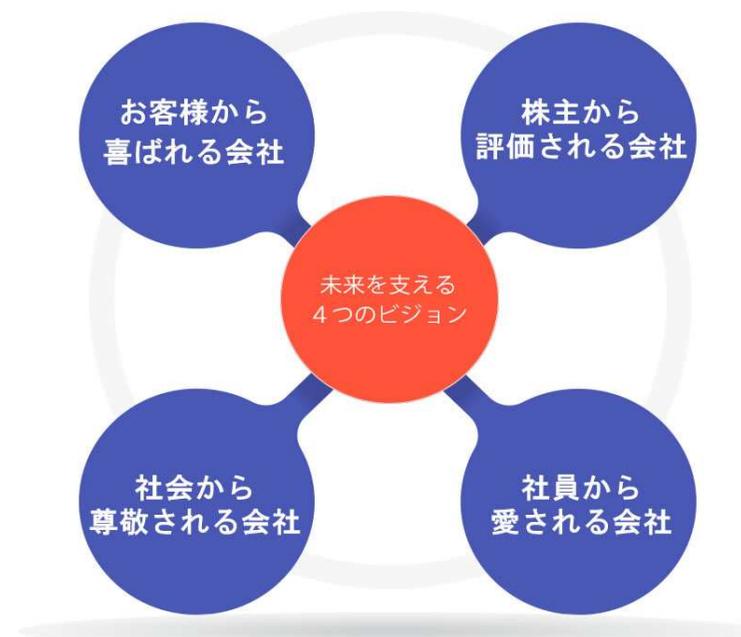
基本情報

名称	株式会社ティビィシィ・スキヤット
設立	1969年12月設立
資本金	2億円
代表	代表取締役社長 長島 秀夫
小山本社	栃木県小山市城東1-6-33
東京本社	東京都中央区日本橋本町3-8-4
従業員数	連結202名（2023年1月末）
売上高	連結25億87百万円（2022年10月期）
事業	美容サロン向けICT事業 中小事業向けビジネスサービス事業 介護サービス事業
子会社	TBCシルバーサービス株式会社（介護） VID株式会社（美容ICT）

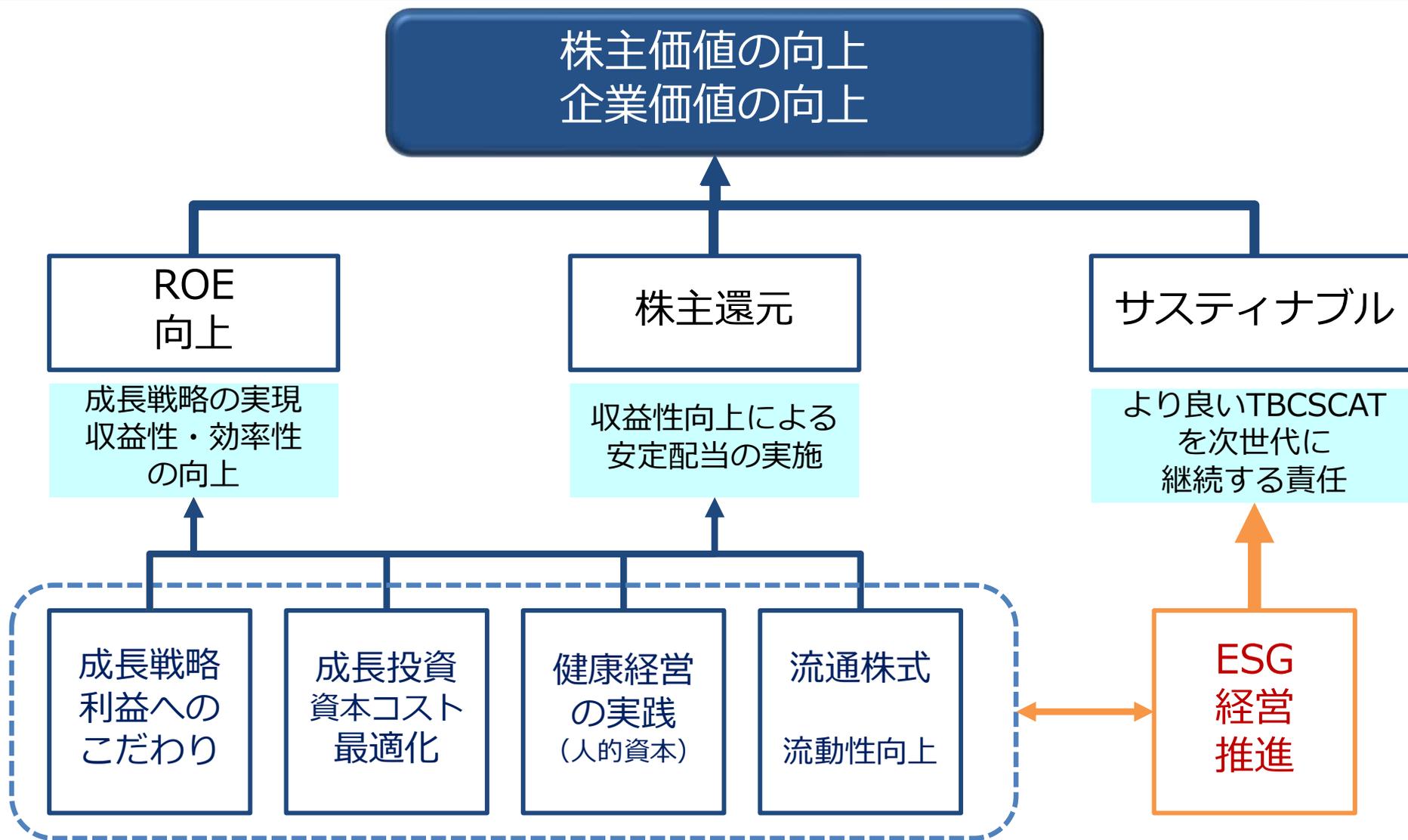
使命・理念

ICTの提供による、中小企業への経営支援を通じた社会貢献

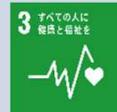
常に新しい商品、新しいサービスの開発に挑戦し、顧客の創造を事業目的とする。



TBCSCATは、継続して成長を続けるために、企業価値の向上を図ると共に、常に変化への対応が必要と考えております。



- ❑ 資本の有効活用により、収益性向上とサステナビリティ経営を継続する。
- ❑ 継続性のある成長分野への投資を積極的に進めることで、企業価値向上を目指す。

マテリアリティ	中期目標	具体的な実施項目	関連するSDGs
<p>環境問題への取り組み</p> <p>Environment</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次世代への地球環境 資源リサイクルの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化推進 再生エネルギーの活用 環境にやさしい営業車の導入 	    
<p>豊かな情報社会・ビジネス社会のDX推進</p> <p>Social (DX)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICT利活用によるコミュニケーション社会の発展に貢献する 	<ul style="list-style-type: none"> ICTシステム提供と普及 B to B to C におけるICT推進 ビジネスの効率化 	    
<p>生き生きと活躍できる社会の実現</p> <p>Social (働き方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 介護事業を通じた健康と福祉への貢献 多様な人財が活躍する働きやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスの提供による高齢者支援と地域貢献 多様な働き方とキャリア支援 女性活躍の推進 	     
<p>公正で透明な企業活動の実践</p> <p>Governance</p>	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な成長を実現するガバナンス体制の維持・強化 	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスの高度化 コンプライアンスの徹底 健全な財務体質の維持・向上 適切なリスク管理の実践 	 

※) ESG経営は、環境(E: Environment)、社会(S: Social)、ガバナンス(G: Governance)を重視した経営であり、東京証券取引所が推奨。
 ※) SDGsとは、国連で採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) 2015.9」をいう。
 当社は、ESG経営の推進により、SDGs 達成に貢献できると考えております。

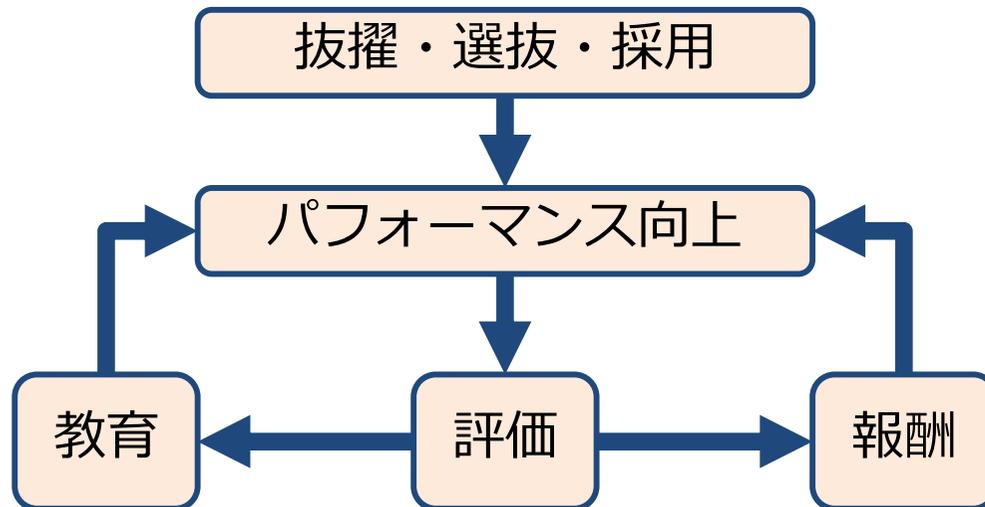
- 経営戦略に必要な人財の「質」と「量」のブラッシュアップ
- 継続的にリーダー人財を輩出する仕組みの構築と風土醸成

■ 人財活用

- ◆ 社員のエンゲージメント向上
- ◆ リーダー人財の抜擢・配置転換等の選抜等の「人財活用」や「採用」の促進
- ◆ 教育訓練や人財評価（目標管理・行動評価）に伴うパフォーマンスに応じた報酬体系改善

■ 働き方環境の改善

- ◆ 人財の「心と身体の健康」が未来にわたる企業価値を創出という共通認識の醸成
- ◆ 労働法令等の遵守
- ◆ 労務環境改善推進（自社制度の制定）



(リスクリング)

- 在宅勤務拡充
- 勤務間インターバル
- 公益通報拡充
(ハラスメント防止対策)
- 育休・介護休制度拡充
- メンタルヘルス対応

■ お客様向けDX推進

- 美容業界のDXパートナーとして躍進
- 中小企業向けDX推進サービスの提供



■ 社内でのDX推進

- 業務プロセスの合理的なデジタル化
- ネットワーク・セキュリティ強化
- 常に社内システムの刷新（新しいサービスや技術を積極的に活用）



《本資料に関する注意》

- この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

IRならびに本資料に関するお問合せ先

IR担当者： 執行役員 経営企画室 室長 高橋 栄

E-mail : ir@tbcscat.jp

電話 : 03-5623-9670

株式会社 ティビィシー・スキヤット